

3月2日 マタイによる福音書 14章 22～36節

「恐れることはない」

私たちにとって、最も恐ろしいこととはいったい何なのでしょう。恐怖は「未知」と密接な関係があります。そういう意味で、私たちがどうやっても知ることが出来ず、どうやっても逃れることが出来ない「死」というものが、私たちにとって究極的で根源的な恐怖なのです。信仰を持っていても、「死ぬのが怖い」と聞かれば、「怖くない」とは言い切れないものです。それほどまでに死の恐怖は大きなものだと思います。それはイエス様の時代も同様で、イエス様から直々に話を聞いていた弟子たちでさえも、逮捕されたイエス様を目の前にして自分が死ぬかもしれないと感じて逃げ出してしまうほど、死の恐怖は恐ろしいものでありました。

今日の聖書個所で、イエス様は湖の上を歩いています。湖は、海とは違い体が浮くわけではなく、服を着たままおぼれてしまえば、死んでしまう可能性が高かったことでしょう。しかしイエス様は、神様の力への信頼と、今ここで死ぬことは神様が望んでいる事ではないという確信によって堂々と湖の上を歩いています。

同じように自分も水の上を歩きたいと言ったペトロの言葉は、「普通であれば死ぬが、死なないようにしてほしい」という、死の克服の意味を持った願いだったと言えるでしょう。そう考えれば、この出来事は十字架と復活の、死の克服の予型として示されていると読むことが出来ます。復活には信仰が必要不可欠で、イエス様の言葉を素直に信じる必要がありました。だからこそ弟子達には死を恐れることなく、その言葉に従うことが求められていました。そしてそれは私たちに対しても同様に、死を恐れることなく、イエス様の言葉に従い、その言葉を心の底から信じる事が求められているのです。

ペトロがイエス様に呼びかけられて踏み出した一歩は、死を乗り越える信仰の一歩であり、未知の領域に踏み出す勇気の一歩でもありました。イエス様の言葉に従って、イエス様の力があればそれが可能であるという信仰によって強められた一歩でした。ここで、ペトロが沈みかけたとき、イエス様はすぐさま手を差し伸べています。信仰の薄さと疑ったことを問題としてはいますが、それでもイエス様は見捨てることなく手を差し伸べてくれています。このイエス様の手によって、私たちもまた未知への一歩を踏み出す勇気を与えられているのです。

さて、皆様の怖いものは何なのでしょう。皆様にとっての「水上を歩む」こと、新しい挑戦は、いったいどんなものなのでしょう。今日の個所のペトロの行動は、単純にイエス様が奇跡を行ったという意味だけではなく、私たち自身もまた「信仰の一歩」を踏み出す一人一人であることを教えてくれています。自分の弱さや恐れを認識し、それを超えてでもイエス様の呼びかけに応える、その力を私たちは与えられているのです。日々の生活の中で、困難な状況の中で、私たちは様々な形で信仰を実践していくこととなります。その中で、どんな場所においても、どんな時でもイエス様が共にいて、私たちが踏み出す一歩一歩を支えてくれています。そう信じることができるからこそ、私たちはどんな時でも神様の御心を追い求め、新しいことに挑戦することができるのです。その勇気を与えられていることを喜びながら、今週一週間の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：マタイによる福音書 14 章 22～36 節

- 22:それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸へ先に行かせ、その間に群衆を解散させられた。群衆を解散させてから、祈るために独り山に登られた。夕方になっても、ただ一人そこにおられた。ところが、舟はすでに陸から何スタディオンか離れており、逆風のために波に悩まされていた。夜が明ける頃、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声を上げた。イエスはすぐに彼らに声をかけ、「安心しなさい。私だ。恐れることはない」と言われた。すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、私に命令して、水の上を歩いて御もとに行かせてください。」イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。しかし、風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。そして、二人が舟に乗り込むと、風は静まった。舟の中にいた人たちは、「まことに、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。こうして、一行は湖を渡り、ゲネサレトの地に着いた。土地の人々は、イエスだと知って、付近にくまなく触れ回った。それで、人々は病人を皆イエスのところに連れて来て、せめて衣の裾にでも触れさせてほしいと願った。触れた者は皆、癒やされた。